

はじめに



小川町は、外秩父のみどり豊かな山々や清らかな水などの美しい自然に恵まれた町です。

また、ユネスコ無形文化遺産に登録された細川紙をはじめ、建具、酒造など世界に誇れる質の高い伝統技術を誇る一方で、ホンダ小川工場稼働による最先端の技術を生み出す「世界のホンダ エンジン工場のまち」としても注目されています。

本町では、平成 14 年に小川町環境基本計画を策定し、環境の保全及び創造に関する施策を実施してまいりました。この間、環境及び社会情勢は大きく変化し、地球温暖化防止から身近な生活環境の問題まで、日々取り組むべき課題も変化しております。

さらに、平成 23 年 3 月に発生した、東北地方太平洋沖地震とそれに伴う福島第一原子力発電所の事故は、私たちの環境保全やエネルギーに対する意識を大きく変えるきっかけとなりました。

このような社会状況のなか、前小川町環境基本計画が平成 27 年度に目標計画期間をむかえたため、これからの多様化した環境問題に取り組むにあたり、第 2 次小川町環境基本計画を新たに策定いたしました。

町では、本計画の目指す環境像「里山文化が育んできた自然を愛する持続可能なまち おがわ」実現のため、自然環境、生活環境、まちづくり、地球環境問題に関する 4 つの基本目標を掲げ、環境負荷の少ない良好な環境を次世代に継承できるように、取組を推進してまいります。

そのためには、町民、事業者、行政がそれぞれの役割を認識し、協働して継続的に取り組むことが不可欠です。町民、事業者の皆様には、より一層のご理解、ご協力をお願い申し上げます。

なお、本計画の策定に当たり、貴重なご意見を賜りました環境審議会の委員の皆様、ワールドカフェにおいて活発な議論をいただきました参加者の皆様、アンケート等を通じてご意見やご助言をいただきました皆様に、心から厚くお礼を申し上げます。

平成 28 年 9 月

小川町長 **松本恒夫**